

高島和男 県政広報誌

届けます。あなたの思いを県政に。

全力で取り組みます！

一生専らせる
『熊本』づくりに



今回の質問は、高島和男ホームページの『お知らせ』、または裏面のQRコードから動画でご覧いただけます

6月定例会報告

木村知事当選後、初めての一般質問でした。そこで知事として立ち位置の確認、そして日頃県民の皆さんと接する中で感じている課題についての認識や今後の取り組みについて質しました。質疑の一部を記載しましたが、詳しくご覧になりたい方はQRコードを読み取ってご覧ください。

① 熊本市の東西格差是正について



高島

熊本市の東西の格差は以前から問題視されている。東区の高齢化率は25.1%、西区は31.2%と西部地域の人口減少と高齢化が顕著。令和5年の地価調査は、東区的地価変動率が2.4%上昇、西区は0.6%とほぼ横ばい。熊本市の市電延伸計画も、東部方面への延伸が決定。このままでは格差がさらに広がる。

知事は公約で「道路・鉄道整備を加速する」と掲げたが、TSMC周辺や空港へのアクセスに重きを置いており、格差が一層加速する懸念がある。熊本市の東西格差についての認識は？

西部地域で少子高齢化が進み人口減少が危惧されていることは認識している。熊本市が熊本西環状道路を始めとする西側のインフラ整備に取り組んでいることを踏まえれば、熊本市の重心を今より西南部に移していくことが、熊本市及び熊本都市圏の未来に有意義と考える。



県



高島

熊本港について県外の荷主企業やTSMC関連企業に利用を働きかけ、問い合わせが来ているとのことだったが、その後の交渉の進展、恒久的な利活用の取り組み、機能向上による流通拡大の見通しは？

耐震強化岸壁やその背後の埠頭用地の整備により、コンテナターミナルの広さが約2倍に拡大すること、ガントリークレーンの新設により港湾機能の大幅な充実が図られる。



県



高島

熊本西環状道路などのアクセス改善は港だけでなく西南部地域の発展に繋がる。熊本市と連携しながらどう進めるのか？

早期に熊本市長とトップ会談を行い、県・市調整会議を通して目標達成に向けて協力していく。



県

② 田崎市場について



高島

田崎市場は民設民営で産声をあげて60年、施設の老朽化は否めず、移転や大規模改修構想も再三浮上し、企業による買収打診もあったが実現に至らなかった。節目を迎えた今、熊本市と連携し関係者と田崎市場の将来像について協議すべきと思うが、知事の考えは？

選挙中、市場関係者から貴重なご意見を数多くいただいた。老朽化対策も認識したが、民設民営だからこそここまで発展も遂げた。熊本市はじめ関係機関と連携し、市場関係者の意向を尊重し「県民の台所」としての機能が引き続き確保されるよう指導・助言を行う。



県

③ スポーツ施設の整備について



高島

新たに組織を設けてスポーツ施設の新設や改修、再整備の方向性等を議論する方針のようだが、同時に施設に関して広く県民の意見や見解を求めていただきたい。本件は地域や年代に関係なく、多くの県民の関心と呼ぶだけに丁寧に進めることが肝要。民意の裏付けがなければ画餅に帰すことになりかねない。

有識者会議でしっかり議論を深め整備に向けた論点を整理する。それを踏まえて県民の声を反映していく具体的な手法として意識調査の実施を含め検討する。



県

④ 県立高校の募集定員について



高島

現在の高校入学者数は今後さらに減少する。県立高等学校再編整備等基本計画で指摘された熊本市の4つの大規模校の学級減について、現段階で行うと生徒の進路選択の幅を狭めるとしているが、学級減を実施しないことが熊本市内の高校の定員割れの一因ではないか。教育長は去年も募集定員の見直しが必要と言及、出生数の減少が続く現実を考えると悠長に構えていられない。

募集定員の見直しは、新たに設置する学識経験者等で構成する外部有識者会議で定員割れ問題を含む高校のあり方について検討する。



県

踏むべき段取りを経ず、新たに外部有識者会議を設けるのは先送り。人口減少は停止や増加に転じることはなく、待ったなし！新しい会議が小田原評定にならず早急に結論を見出し、教育委員会が即時実行に移すことを期待し、注視する。



高島

一般質問の様子は熊本県議会のホームページよりご覧いただけます



高島和男事務所

届けます！あなたの思いを県政に
高島和男サポーター募集中です！

〒862-0962
熊本市南区田迎 2-17-7
TEL.096-288-6004
FAX.096-288-6009

ホームページでは写真付日記を毎日更新！

<https://takashima-kazuo.com>

Facebookもやっています！

